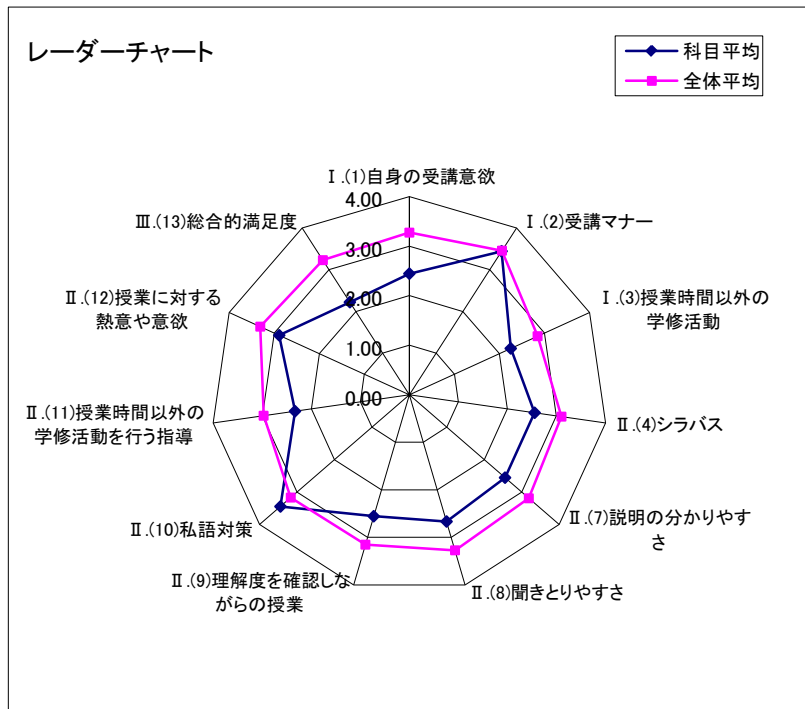
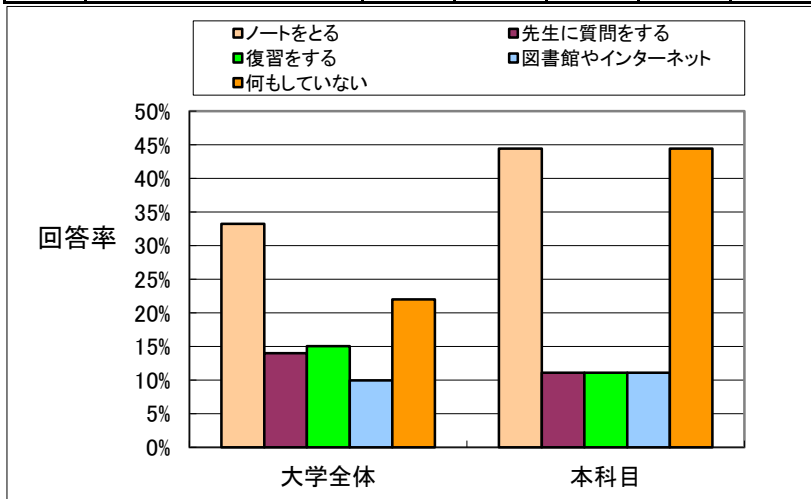


講義科目 授業アンケート結果



※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

〈※複数選択可項目〉	ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(14) 授業を理解するための工夫	0.44	0.11	0.11	0.11	0.44



	設問No.	科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	I.(1)	2.44	3.27
	I.(2)	3.44	3.46
	I.(3)	2.25	2.85
講義内容・方法	II.(4)	2.56	3.10
	II.(5)		
	II.(6)		
	II.(7)	2.56	3.19
	II.(8)	2.67	3.27
	II.(9)	2.56	3.15
	II.(10)	3.44	3.17
	II.(11)	2.33	2.97
	II.(12)	2.89	3.31
	総合評価	III.(13)	2.22

	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	2.71	3.19
I.(1)~(3)		
講義内容・方法	2.71	3.17
II.(4)~(12)		
総合評価	2.22	3.23
III.(13)		

アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2013年度 前期
時間割番号	1366
科目名	情報数学演習Ⅱ
教員名	

①授業計画の達成度について
 計画達成には、ほど遠い。この科目は、高校学校までの科目にはない内容なので、学生自身になじみがないことが、要因である。しかし、情報学に限らず、日常生活を進める上では、必要不可欠の科目であるが、なじみがないという事で、敬遠されている。

②授業の進め方について
 なるべく図を多く用いて説明をしているが、受講学生のほとんどが数学的(論理的)思考が乏しいので、なるべく数学用語をつかないで説明しているが、そこには限度があることも事実である。特に、アルゴリズムの解析等を目指しているが、そこには、離散数学の要素が必然的に入る。やはり、情報を勉強する学生に限らず、せめて、数1を受講した学生でなければ、大学での専門教科を理解しがたいと思う。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について
 アンケート結果からは、すべての項目で、全体平均を下回っているのは、非常に残念である。教科書も購入しない学生がいるし、ノートをとる学生が非常に少ない。それが、この結果に表れていると思う。今後の授業改善計画では、講義の中で、学生に対し、積極的に、演習を行い、学生自身が、黒板で解答するように指導する。そして、各単元終了後に、小テストを行い、学生のスキルアップを目指す。